

WebDB Forum 2012 L^AT_EX テンプレート

東京 太郎^{1,a)} 情報 花子²

概要：WebDB Forum 2012 論文集のテンプレートファイルです．

1. はじめに

このテンプレートは情報処理学会 L^AT_EX スタイルファイル^{*1}の DOS 用を基に作成されました．webdbf2012.tex がソースファイルで，webdbf2012.pdf が原稿の作成例です．webdbf2012.tex は SJIS でエンコードされておりますので，環境に合わせて変更して下さい．また，ファイル名に webdbf2012 を含む webdbf2012.tex, webdbf2012.pdf 等のファイル以外は上記のスタイルファイルに同梱されているものと同じですので，詳しい使い方はそちらをご覧ください．ただし，著者紹介は不要です．また，L^AT_EX 以外のフォーマットは準備しておりませんので，L^AT_EX 以外をお使いの方は webdbf2012.pdf と同様のフォーマットになるように原稿を作成して下さい．

2. 英文アブストラクト等の省略について

和文で原稿を執筆する場合，英文タイトル，英文著者名，英文アブストラクトは省略することが可能です．いずれかを省略する場合は対応するコマンドをコメントアウトし，必要に応じて調整してください．

2.1 英文アブストラクトのみを省略する場合

`\begin{eabstract}~\end{eabstract}`の部分をコメントアウトして下さい (webdbf2012omitAbst.tex 参照)．

2.2 英文タイトル，英文著者名，英文アブストラクトを省略する場合

クラスの指定に `noauthor` オプションを追加して `\documentclass[submit,techreq,noauthor]{ipsj}` として下さい．さらに，`\etitle{}`，`\begin{eabstract}~`

`\end{eabstract}`をコメントアウトして下さい (webdbf2012omitAll.tex 参照)．

3. おわりに

本テンプレートに関する問合せは WebDB Forum 2012 実行委員会^{*2} までお願いします．情報処理学会には問い合わせないようにお願いします．

¹ XX 大学
XX University

² YY 株式会社
YY Company

a) taro.tokyo@xx-u.ac.jp

^{*1} <http://www.ipsj.or.jp/journal/submit/style.html>

^{*2} webdbf2012-rec@dl.kuis.kyoto-u.ac.jp